7/16
赤旗

戦争法案 強行採決に抗議

座り込み開始

新潟市

座り込み行動スタート集会に参加した人たち＝15日、新潟市

100人参加

自民、公明与党が戦争法案を衆院特別委員会で強行採決したことに抗議して、新潟県憲法センターと平和運動センターは15日、新潟市内で緊急の共同座り込み行動をスタートさせました。24日までの予定です。

スタート集会には、約100人近くが参加。憲法センターの関根征士氏（県平和委員会会長）が「強行採決は許されない。憲法違反とアメリカ追随の戦争法案であることは明白。戦争法案を廃案に追い込み、安倍政権を打ち倒すまでたたかい抜こう」と訴えました。

激励あいさつで、日本共産党の渋谷明治県議は「圧倒的な弁護士や憲法学者が反対しており、われわれの味方だ。廃案までたたかい抜こう」と表明。社民党の青木学市議は「今日は安倍政権が日本の民主主義を投げ捨てた日だ。廃案まで何が何でも頑張ろう」と訴えました。

「みんなの力で平和を」と訴え

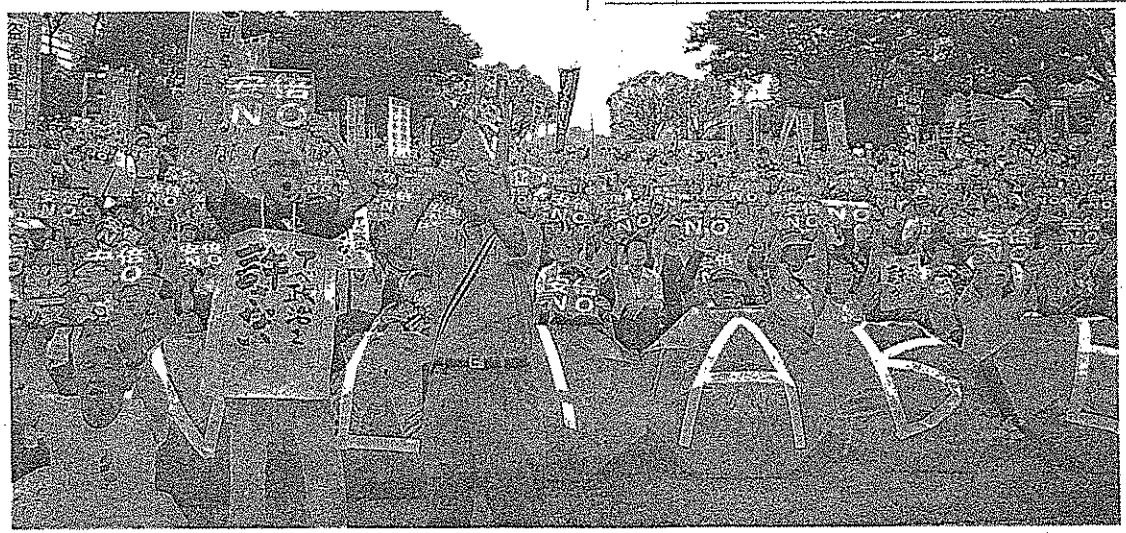
富山で昼休みデモ

「戦争する国」づくりに反対する昼休みデモ行進が14日、富山市内で行われました。国民大運動富山県実行委員会が呼びかけ、75人が参加しました。

富山民医連の若い人たちが中心になり、タンバリンや太鼓などのリズムに合わせて唱和。「戦争法案」「今すぐ廃案」「強行採決絶対するな」「安倍さんやめて」「みんなの力で平和を守ろう」と、沿道の市民にアピールしました。

デモ行進に先立つ集会では、増川利博代表が「安倍内閣は大きな大きな世論を裏切る形ですすめている。戦争法案を廃案にするまでたたかおう」と呼びかけました。

日本共産党のひづめ弘子県議、中山雅之富山市議も参加しました。



「安倍NO」のボードを掲げアピールする1500人を超える人たち＝14日、名古屋市中区

名古屋でデモ 1500人

「横暴腹がたつ」

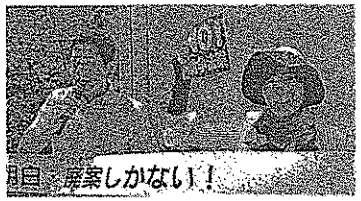
名古屋市中区の繁華街で14日夜、「安倍内閣の暴走を止めよう！戦争法反対！強行採決反対！7・14愛知集会」が開かれ、1500人を超える市民が参加しました。安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会主催。

主催者あいさつで中谷雄二弁護士（秘密保全法に反対する愛知の会共同代表）は「国民過半数が戦争法案は違憲だと言い、国民の8割が『慎重審議を』と今国会の法案成立に反対している。政治に距離を置いていた人たちが『このままではいけない』と立ち上がってきている。戦争法案反対の声をいっそう広げ廃案にしよう」と訴えました。

県弁護士会の平林拓也副会長は「人権を破る集団的自衛権行使に反対する」。「やめて戦争法！天白の会」の岩佐加代子さんは「6月末に会を結成した。18日には初めての集会とデモをおこなう」と報告しました。

集会後、「戦争反対」「安倍NO」などのボードを掲げてデモ行進しました。日本共産党の、くれまつ順子、さはしあこ、西山あさみ、高橋ゆうすけ、柴田民雄の名古屋市議も参加しました。

「安倍首相は辞めろ」のボードを持った白井雅美さん（63）は「3月の原発ゼロ集会には参加したが、戦争法案の集会は初めて。安倍政権の横暴に腹がたって出てきた」。仕事を終えて東海市から駆けつけた高石雅和さん（54）は「まともな審議もせず強行採決しようとする自民、公明に怒りを覚える。あきらめずに廃案めざし運動する」と語りました。



戦争法案の委員会での採決強行を許さないと宣伝する（左から）たけだ良介参院比例候補、唐沢ちあき参院長野選挙区候補＝15日、長野駅前

強行許せない 4日間1000回宣伝

党長野県委

日本共産党長野県委員会は14日から17日にかけて戦争法案の採決強行を許さない1000回宣伝に取り組んでいます。

14日は、県下で110回を超える宣伝。14日付地元紙が共産党の1000回宣伝を報道し、それを見た人から党県委員会に「どこでやるんだ。手伝いたい」と問い合わせの電話がありました。

中川村では天竜川にかかる橋の近くで朝宣伝。手書きの横断幕でアピールし、軽トラに積んだスピーカーで宣伝。長野市では63回の街頭宣伝。東御市では20日までに、すべての集落で街頭宣伝を行う計画です。女性のレッドアクションは松本市、安曇野市で行われました。

15日は朝から地方議員を先頭に各地で党支部がプラスター、のぼり旗、横断幕などで朝宣伝や街頭宣伝に取り組みました。党県委員会は長野駅前でたけだ良介参院比例候補、唐沢ちあき参院選挙区候補を先頭に宣伝。夕方は松本市や伊那市、飯山市などで緊急宣伝や集会を行いました。県華新聞も長野駅前で宣伝しました。